

ご参考

2006年9月1日

住友化学株式会社

ポリエーテルサルホン（PES）の増強について

住友化学は、愛媛工場で生産中のポリエーテルサルホン（PES）の能力を、2,500トン/Yから3,000トン/Yに増強することとし、この程工事に着手いたしました。本年7月に、2,000トン/Yから2,500トン/Yへの増強工事が既に完工し、順調に稼動を開始しておりますが、昨今特に航空機用途の需要が急増しているため、今回は本用途の特殊グレードを中心に設備能力を増強し、2007年以降の需要に対応し供給責任を果たすことといたしました。

PESは、軽量性・耐熱性・強度・透明性等多くの優れた物性を有するスーパーエンジニアリングプラスチックス（スーパーエンプラ）で、その特性を生かし、各種電子部品や膜用途、さらには炭素纖維複合材料等、広範囲な部材に使用されています。中でも航空機用途の炭素纖維複合材料は、近年、燃費削減から求められる航空機の軽量化を背景に、使用される部材の範囲が広がり、航空機1機当たりの使用量が、従来の3~4倍にまで増加しています。それに伴い、炭素纖維複合材料に使用されるPESの需要も急激に伸長しています。住友化学は、その特殊グレードが、航空機用途として現在世界で唯一認定を受けしており、その供給責任を果たすため、このたび設備能力の増強を決定したものです。

本設備は2007年6月には完成の予定で、完成後の航空機用特殊グレードの生産能力は約1,000トン/Yとなり、2010年頃までの需要には対応できる見込みです。

住友化学は、今後も、航空機用途以外の新しい需要も開拓し、PESをスーパーエンプラ事業のひとつの柱として育成する計画です。

以上

<お問い合わせ先>

住友化学株式会社 I R・広報部 03-5543-5102